

## 令和5年度（2023年度）事業計画書

当会の公益目的事業は、「観賞用花木等の収集保存、育種、栽培、利用の研究、情報の収集と提供及び普及啓蒙等の事業」です。

以前は桜苗木の大量配布が中心でしたが、近年は、桜の名所づくりのノウハウや保全・管理方法の普及啓発、花のまちづくりの支援といった、質の充実に力を注いでいます。令和5年度（2023年度）は、こうした活動の質的充実にさらに推進していきます。事業の各項目における主な計画は以下のとおりです。

### （1）桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進

#### 1) 桜の名所づくり

～桜苗木の生産と配布～

桜を中心とした美しく潤いのある地域環境づくりを推進するため、桜苗木の生産と配布を継続して実施し、地元行政や地域住民と一体となった新しい桜の名所づくりを進めます。特に桜苗木の配布に際しては、植栽面積や植栽間隔が充分確保されているか、植栽後の維持・管理体制が明確化されているか、などについて確認した上で実施します。

～さくらコンシェルジュ～

新しい桜の名所をつくりたい、自分達で植栽した桜を健全に育て新しい名所にしたい、あるいは既存の桜の名所を守り後世に伝えたい、といった地域住民団体等の要望に積極的に応えるため当会研究員を現地へ派遣します。住民団体等と共に活動計画を策定して、技術的な支援や指導を行います。

～桜を通じた災害復興支援～

災害復興支援として、これまでに7,100本以上の桜の苗木を無償で提供しています。当初は東日本大震災からの復興支援として活動していましたが、2019年度より、風水害などの各種自然災害からの復興を支援対象に加え、被災地向けに接木1年生苗木や花苗および堆肥などを無償提供しています。更に、後継樹育成や、接木講習会の開催、復興計画の進捗に合わせた桜の植樹、育成指導なども継続して行っています。

## 2) 桜苗木の受託生産と育苗

地元で愛されている桜の苗木増殖や、伐採せざるを得ない桜の保存を目的に、接木生産や育苗に関する事業を自治体や団体などから受託します。住民が親しみを感  
じている桜を育苗し植栽して後世に残すことで、地域住民が愛着を感じる桜の名所  
づくりに繋げていきます。

## 3) 花のまちづくり

花や緑を活かした地域環境づくりに関する事業を、自治体などから受託して、  
地域の美しい環境づくりに関する提言や、住民への花壇づくりの技術指導などを行  
います。山口県上関町や静岡県熱海市において実施予定です。現在は、山口県上関  
町や静岡県熱海市において実施中で、上関町では、河津桜と水仙による公園の整備、  
「花づくりパートナー制度」の支援など実施し、今後は、保育園児を対象にした「花  
育」活動なども行う予定です。熱海市では、「熱海花のまちづくり」計画関連事業  
に参画しています。公共花壇での植栽指導や、糸川遊歩道の改修などを継続して実  
施していきます。

## (2) 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣、講座・シンポジウム等の 開催

### 1) 講師派遣

地方自治体等が開催する桜の講習会や勉強会に、当会研究員を講師として派遣し  
ます。また、花のまちづくりに関する講演会や勉強会にも当会研究員を派遣し、花  
のまちづくりの一層の普及啓発を図ります。Web 講座の活用にも注力します。

### 2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

～サクラ保全管理講座の開催～

桜の樹勢回復の方法や病虫害対策などの技術的・科学的分野と、桜に関する文  
化的・社会的な分野についての「サクラ保全管理講座」を、来年度も開催します。  
樹木医や各地で桜の保全活動を行っている住民団体・個人など、Web 参加も含め  
て約 100 名の受講者を見込んでいます。

～全国さくらシンポジウムの開催～ （共催事業）

第42回全国さくらシンポジウムを、4月6日・7日の両日、埼玉県熊谷市で開催致します。開催テーマは「さくらでつなぐ ところ みらい」。初日は地元の活動家による事例発表や記念講演会などを、2日目には、3つのコースに分かれて、熊谷桜堤や小江川千本桜など、市内の桜名所の見学会を実施します。

～学び舎の桜プロジェクト…桜を知ろう、守ろう、救おう…～

児童や生徒が学校にある桜に触れる原体験を通して、桜への興味や関心を深めてもらい、桜を守る活動や樹勢回復に繋がることを期待して活動します。PTAや地域住民が参加するケースもあり、桜の名所づくりアドバイザーの協力を得ながら、地域特性に応じた活動内容を心掛けて支援します。

### 3) 花のまちづくりの普及啓発

～全国花のまちづくりコンクールの実施～ （共催事業）

第33回全国花のまちづくりコンクールの事務局として、引き続きコンクールの質的充実を図るとともに、効率的な運営に努めます。

来年度も、例年どおり、4月から募集を開始し、7月下旬に第1次審査、8月に現地審査、9月に第2次（最終）審査、そして10月に表彰式という日程で進めます。

近年の応募者減少対策としては、都道府県などの行政への働きかけを継続して行っています。来年度からは、石川県、横浜市、山口県宇部市、茨城県鉾田市などから、新たに推薦を行って頂く予定です。

～全国花のまちづくり地方大会の開催～ （5月27日・28日、共催事業）

地方での花のまちづくりの普及啓発を目的とした第29回全国花のまちづくり地方大会を静岡県浜松市で開催します。開催テーマは「日本の春は浜名湖から…」です。初日は全国花のまちづくりコンクール入賞者による活動事例発表や特別講演などを、2日目は浜松フラワーパークなどの現地見学会を予定しています。

～こまつの杜での花育～

2015年から、石川県小松市にある「こまつの杜」で行われている花育活動に、講師として参加しています。子ども達が自ら「育てる楽しさ、花咲くよろこび」

を感じられるよう、コマツOB/OGのボランティアスタッフの皆さんや「わくわくコマツ館」の社員の皆さん、小松市職員と日頃から連携し、活動を続けています。従来の活動に加え、新たに、園の先生を対象としたフォローアップや小松駅前道路に新設予定の花壇での活動なども検討しています。

#### 4) 屋上緑化

都市部のヒートアイランド現象の緩和策として注目されているビル屋上の緑化について、コマツビル屋上庭園の維持管理を継続するとともに、2023年3月より再開した一般公開を継続実施し、屋上緑化の先進事例としての情報発信と普及啓発に努めます。一昨年より開始した、InstagramやTwitterでは、引き続き、四季折々の花々や屋上庭園の風景をタイムリーに情報発信していきます。

### 3) 桜の品種特性に関する調査研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

#### 1) 自主研究

～桜の品種特性に関する調査研究～

桜見本園で収集保存している桜の花の形状など、品種特性の画像データ化を進め、ホームページ等で情報公開することで、多様性のある桜に対する世間一般の認識向上に、引き続き努めていきます。

～桜の樹勢回復に関する調査研究～

結城農場の桜見本園の桜を利用した樹勢回復の試験研究を継続し、全国各地の桜の保全に対応できるよう、引き続き技術力向上に努めていきます。

#### 2) 受託研究

～桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導～

老齢の桜の樹勢回復に関わる事業を自治体等から受託して、調査研究を行い、病虫害の駆除、枯れ枝の剪定、施肥など、樹勢回復の提言と指導を行います。

- ・藤岡市（群馬県）……桜山公園の桜樹勢回復
- ・須坂市（長野県）……臥竜公園の桜樹勢回復
- ・幸手市（埼玉県）……権現堂桜堤の桜樹勢回復
- ・富士吉田市（山梨県）……新倉山浅間公園の桜樹勢回復

以上